

5. キャリアアップ支援事業

県士会では、「言語聴覚士の自己研鑽及び業務に役立つ資格取得等の支援を行う」ことを目的としたキャリアアップ支援事業を行っております。本事業は、対象となる会員に対して研修にかかる費用（受講費や交通費等）を助成するものとなっております。

本年度申請をいただき助成を行った研修は下記の3件です。（掲載は申請日順）

- ・『LSVT LOUD 認定講習会』（金沢西病院 上野真由美 会員）
- ・『第16回JIMTEF 災害医療研修 アドバンスコース』（小松ソフィア病院 朴木紗希子 会員）
- ・『第16回補聴器講習会』（金沢医療センター 宗石 順子 会員）

応募資格や応募方法等の詳細につきましては、県士会のホームページに掲載されております。皆様により一層ご活用していただくために、適宜見直しを行いながら次年度以降も運営して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

金沢こども医療福祉センター 藤田 徹

研修報告書①

所属	金沢西病院	氏名	上野 真由美
日時	2023年11月11日～2023年11月12日		
資格 研修会名	LSVT LOUD 認定講習会		
会場・場所	成田国際ホール（国際医療福祉大学成田病院 4階）		
研修内容	2023.11.11～2023.11.12の2日間にわたって参加した研修は、LSVT LOUD訓練と認定コースのライブセッションでした。このライブセッションに参加するためには、事前にバーチャルライブコースの学習管理システムで、モジュール1～7をオンラインで完了した上での参加が条件となっていました。 ライブセッションには、LSVT GLOBALの講師陣による講義と実演、また参加者同士、患者ボランティアによる模擬訓練を行いました。 ライブセッション終了後に、最終試験を受験し合格して資格を得ることが出来ました。 治療の特徴としては声を大きくすること、継続した集中的で高い努力を必要とする実施方法、自己校正力を徹底強化することにあります。		
成果 感想 今後の抱負	2019年に日本で開催された世界パーキンソン会議（WPC in KYOTO）に参加して以来、この資格に興味を持ち、取得したいと思っていた資格です。日本では年に1回、参加人数に制限があり簡単には受講することも出来ないかと思っていたのですが、この制度を活用させて頂きようやく受講することが出来ました。そして創始者のRaming先生からの直接の講義を受けることが出来、貴重な時間を過ごすことが出来ました。 今後は、実際私が臨床で担当する方は、皆さんが担当する方と同じ程度にPDの方を担当しています。この研修を期にPD患者さんの見方が変わって来ますし、迷うことなく、すぐに治療に活かすことが出来ています。また、PD患者さんだけでなく他の疾患の方にも応用出来るとのことですので、より多くの患者さんの治療に役立てることを考えております。実際に正式に行った症例を増やしていきたいと考えており、多くの方に広めていけば良いと考えます。		

研修報告書②

所属	小松ソフィア病院	氏名	朴木 紗希子
日時	2023 年 11 月 4 日 ～ 2023 年 11 月 5 日		
資格 研修会名	第16回JIMTEF災害医療研修 アドバンスコース		
会場・場所	JAICA関西		
研修内容	アドバンスコースは基礎コース修了者が対象で、神戸にあるJAICA関西で行われました。1日目は13:00から開始されます。到着するとグループワークができるよう机が配置されていました。私はCグループに配置されました。グループには、秋田県、山口県、大阪府、群馬県、京都府の方々がいて、職種も理学療法士、作業療法士だけでなく、鍼灸師さん、ケアマネジャー、臨床心理士さんもおられました。 南海トラフ地震が起こり、大きな被害が出たことを想定して高知県南海市に支援に行くにはどのような方法やルートがあるか?それぞれのメリット・デメリットは何か?何を持っていくのか?宿泊先は支援先からどの程度の距離のどういったところを抑えるべきか?などをグループで話し合い、発表していきます。難しいと感じたのは宿泊先です。片道30分の電気や水道などライフラインのないホテルか片道2時間かかるがライフラインの制限がない宿泊先どちらを選ぶべきか?片道2時間は遠すぎると30分の電気や水道のない場所を私たちのグループは選びましたが、講師の先生は遠くてもライフラインのあるところを選ぶとおっしゃっていました。また、県のJRATでどちらも抑えて、交互に泊まるのもいいとおっしゃっていました。 1日目の後半は避難所運営ゲームをしました。1日目は避難所ゲームを片付けずに終了し、2日目はその各グループが行った避難所ゲームを元にお隣の避難所に聞き取りに行くという体験をしました。避難所評価シートが配られ、それに沿って聞き取りをしていると時間が足りなくなります。2か所目は「困っていることは何ですか?」と問うことで避難所を説明してくださる方がどんどん話して下さって、聞き取りがスムーズに行きました。「尋ね方」の大切さを実感した体験でした。また、クロノロやTO-DOリストを見て情報を取ることも大切だとファシリテーターの方にご指導いただきました。 2日目のお昼は災害ご飯を作って食べる体験をしました。あまり美味しいものではなかったですが、なかなかしない体験をして印象に残りました。		
成果 感想 今後の抱負	体験重視の研修会で退屈することなく、あっという間の2日間でした。実践的な内容をとっても楽しく学ぶことができました。コロナ以降、久々の対面での研修会に参加しましたが、同じく災害医療を学ぶ方々と顔を合わせ、交流ができたことも研修内容以外の収穫でした。今後も勉強を続け、災害医療に役立てることと併せて、同志とつながっていけるといいと思います。		

研修報告書③

所属	金沢医療センター	氏名	宗石 順子
日時	2024 年 2 月 13 日 ～ 2024 年 2 月 14 日		
資格 研修会名	第16回補聴器講習会		
会場・場所	グランパークカンファレンス（東京）		
研修内容	難聴の基礎と病態、補聴器に関連しての法律、適応と限界、種類と機能、特性測定、フィッティング、イヤーマールド作成、症例検討、装用指導などについて座学での講義や実習を受け、修了試験を受けた。		
成果 感想 今後の抱負	難聴や補聴器の臨床についての知識の確認をし、新しい情報を得、理解を深めた。聴覚分野の認定言語聴覚士として、補聴器の勉強はしているが、苦手分野でもあるため、まとまった講義で理解を深められたことは良かった。今後臨床において生かしていきたい。		

6. 県民向けイベント

1) 「言語聴覚の日」

■「言語聴覚の日2023」開催報告

開催日時：2023年8月20日(日)

開催場所：学びの杜 ののいちカレード
オープンギャラリー



2007年より始まった「言語聴覚の日」のイベントも今年で17回目となりました。今年も昨年と同様に、学びの杜ののいちカレードにて開催させていただきました。

未だコロナウィルス感染症が終息していないため、今年も来場者の体験コーナーやクイズコーナー等は行わず、展示コーナーや川柳コンテストを中心に行いました。

川柳コンテストは、全国からたくさんの方々が応募してくださり、124作品もの川柳が集まりました。どれも心温まる素晴らしい作品でした。今年も会場での見やすさに配慮し、広報部の方で選定して63作品を展示させていただきました。

来場者数は昨年よりも増え、55名の方に来ていただきました。展示コーナーや川柳作品を時間を掛けてじっくりと見てくださる方もたくさんおられ、地域の方々に言語聴覚士の関わる障害や仕事内容などについて、知っていただく場になったのではないかと思います。

これから、このコロナ禍が落ち着くことを願い、来年もまた無事に開催できればと考えています。お忙しい中、川柳コンテストの応募に協力してくださった皆様、告知に協力していただいた皆様、どうもありがとうございました。

金沢脳神経外科病院 小坂 直 ニュースレター2023.9

■2023川柳コンテスト(入賞作品)

応募総数：124句(掲載は63句)

- 金賞 よく噛んで 昔は子へと 今子から
- 銀賞 誤「嚥」断ち 健康寿命と 「縁」結び
補聴器を かけて復活 地獄耳
- 銅賞 リハビリは 甘えず焦らず 諦めず
ことばにも トロミをつけて 食介助
滑舌を 良くする活舌 励んでる
- 入選 会話中 耳と心を 近づける
補聴器の 要らぬ元気な 孫の声
話そうよ 気持ちはきっと 解るから
聞こえない 心の声は 聞こえてる
ありがとう 手のひら叩く 笑う妻



2) 県民公開講座

開催日時：2024年2月11日(日) 14:00～16:00

開催場所：石川県立図書館だんだん広場
(オンラインとのハイブリッド形式)

講師：河野 俊寛 氏
(北陸大学国際コミュニケーション学部
心理社会学科教授)

テーマ：「読み書き障害の理解と学習支援」



今年度の石川県言語聴覚士会主催の県民公開講座は、「読み書き障害の理解と学習支援」ということで、読み書き障害の定義や判定方法、支援の方針、特別支援教育の対象と学校制度などについてお話いただきました。

特に、「読み書き障害」とは「字が読めないわけでも、字が書けないわけでもなく、スラスラと正確に読み書きができないことである」というお話は、「読み書き障害」を理解する上で大変分かりやすかったです。

「読み書き障害」と聞くと、どうしても読み書きが流暢にできるようになることを目標に定めたいくなります。私も当講座を受講するまでは、読み書き障害の目標はできるだけすらすらと読み書きができるようになることだと考えていました。しかし、当講座にて文字はあくまでも学習の道具であり、目標とすべきは、他の子どもと同じ学習ができるように支援していくことだと教えていただき、目から鱗が落ちました。

最近では、音声付き教科書やデジタル教科書など、読み書き障害に役立つものが色々と開発されています。これら支援に役立つものについても情報を集めながら、今後さらに読み書き障害への学びを深めていきたいです。

城北病院 大場 美穂 ニュースレター2024.3

3) 小児発達相談会 (11月26日現在)

開催日時：2023年11月26日(日) 9:00～13:00

開催場所：金沢市教育プラザ富樫

ことばの発達相談会が11月26日に開催されました。今回は7月の相談会で定員枠の関係でご案内できなかった方に案内し、結果8名が参加され、1人50分ずつ相談に応じました。運営担当が集合場所で体調確認と検温を行い、スムーズに案内することができました。今回は3人の先生がそれぞれ個別に相談に応じた形となりましたが、主訴と診断名が異なるお子さんがいたり、相談会の部屋へ入室できないお子さんがいたり等、1人で対応することに苦慮されました。また相談に来られる保護者さんは、普段の仕事でお会いしている保護者さんよりも診断、各種申請など経験されていない可能性もあり、より配慮しながらお話する必要性が感じられました。相談事業は、県士会の小児領域発展のために、いろんな役割のある事業だと思っています。会員同士が直接会うことで、情報交換、連携の良い機会になるだけでなく、相談事業に関わる新人、若手のSTさんを育てることにもつながると思います。今後も小児の相談事業に携わるSTを増やしていけたらと思います。

金沢脳神経外科病院 脇坂 英寿 ニュースレター2024.3

7. 他団体との連携事業

1) 石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会研修会

■市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修① 導入研修参加報告

開催日時：2023年10月22日(日) 9:30～13:30

開催方法：ハイブリッド開催

(オンライン：Zoom 来場：石川県リハビリテーションセンター4階 大研修室)

【内容】

石川県POS連絡会主催の市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修① 導入研修に参加しました。今回のテーマは2つ。1つ目は「地域リハ推進のためにこれから行政とできること ～地域支援事業等を手段として『当事者が健康になる』に役立つセラピストに～」というタイトルで途中グループワークを挟みながら90分の講義を受けました。津山市役所のこども健康部健康増進課参事の安原氏は行政マンであり、作業療法士であるため、「住民が住民と住民で健康になること」を支援してきたとのこと。一番のポイントは住民の支援者の支援を行うこと！とのことで、具体的な事例を通して多くの支援を学ぶことができました。また、もう1つのテーマは、「地域で生活をしていくために必要な短期集中C型サービスのあり方～その人らしい生活に戻するために必要なこと～」ということで地域の実践を県理学療法士会の諏訪理学療法士より講義とグループワークを受けました。言語聴覚士は、実際は直接関わる機会は少ないのですが、地域住民がどのように地域で生活を継続していくことができるか？グループで話合うことで、知ることができ実践に結び付くのではないかと思いました。もっとSTが活躍できる場があると良いと思うのですが、実際はSTの数も少ないのでうまく回らない現実があります。今後は、もっとSTが活躍できる場を作ることが目標です。

金沢西病院 上野真由美

2) 石川JRAT活動報告

※令和6年能登半島地震の支援のため、研修会は実施せず

令和6年能登半島地震におけるJRAT活動履歴（令和6年3月31日まで）

	本部	能登地域	金沢以南
1/1	発災		
1/2	石川県庁にて情報収集開始 ST士会：LINEでの安否確認開始		
1/3	石川JRAT災害対策本部設置 (金沢医科大学)		
1/5	RRT派遣活動開始		
1/7		七尾本部設置 (公立能登総合病院)	
1/8	石川県－石川JRAT 協定書締結		
		穴水避難所にて活動開始	1.5次避難所開設 (いしかわ総合スポーツセンター)
1/9		七尾市避難所にて活動開始	
1/13	石川本部移転（石川県リハビリ テーションセンター）		
1/14	地域JRAT活動開始		
		志賀町避難所にて活動開始	
1/17		能登町避難所にて活動開始	
1/18	七尾本部移転（石川県能登 中部保健福祉センター）	中能登町避難所にて活動開始	
1/20			ミールラウンド開始 (いしかわ総合スポーツセンター)
1/21		珠洲市にて活動開始	
1/22			小松市（1.5次避難所）にて 活動開始
1/25		輪島市避難所にて活動開始	
2/13			金沢市（2次避難所）にて 活動開始
3/8	七尾本部機能を石川本部に統合		
3/19	東京本部機能を石川本部に統合		
3/26		輪島市でのJRAT活動終了	
3/31	県庁本部機能を石川本部に統合	能登地域でのJRAT活動停止 (4.9～12 一隊予定)	

○支援活動参加者数（のべ人数）

派遣チーム：949 石川本部ロジ人員：1,794人 現地派遣人員：3,168人 東京本部ロジ人員：625人
石川県言語聴覚士会 187人 富山 19人 福井 3人

○いしかわ総合スポーツセンターでのミールラウンド 実施実人数：137人

災害リハWG

3) 特別支援学校の医療等外部専門家との連携事業

1. 石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

珠洲市総合病院 矢内 真実

1) 日程 (合計 2 回)

2023年 6 月 2 日 (金) 11:30～15:30 *県リハはWeb参加

11月 2 日 (木) 11:00～15:00

2) 対象者

学部	内 容
小学部	発音について (明瞭度)
	摂食について (小学部全体)
中学部	発音について (明瞭度)
高等部	摂食について

3) 備考

- ・対象者への助言は複数回実施しました。

2. 石川県立七尾特別支援学校輪島分校

市立輪島病院 水上 匡人

1) 日程 (合計 2 回)

2023年 7 月 5 日 (水) 11:30～15:30

12月 6 日 (水) 10:30～15:30

2) 対象者

学部	内 容
高等部	徐々に嚥下機能が低下している 1 例の食事摂取方法、食事形態の相談

3. 石川県立七尾特別支援学校

公立能登総合病院 藪越 文佳

1) 日程 (合計 3 回)

2023年 7 月 3 日 (月) 10:30～13:00 ①

11月 8 日 (水) 9:50～13:50 ②

2024年 1 月 31 日 (水) 9:30～13:30 ③

2) 対象者

学部	内 容
小学部	言語表出につながる支援、カードを用いたコミュニケーションの支援
	食事をスムーズにするための口腔器官の運動
	咀嚼嚥下の評価、食具のアドバイス
	言語表出を増やすための支援 ①③のみ
	発話の不明瞭さについて、苦手な構音 ①③のみ

小学部	言葉によるコミュニケーションの支援 ①③のみ
	丸呑みにせず咀嚼を促す支援 ①③のみ
	発話の不明瞭さについて ①③のみ

3) 備考

- ・3回目の訪問の連携支援の後、専門相談員の先生方との情報交換を実施。

4. 石川県立ろう学校

金沢医療センター 清水 聡子・宗石 順子

1) 日程 (合計5回)

2023年9月26日(火)	9:00～12:00 (宗石)
10月17日(火)	9:00～12:00 (清水)
11月14日(火)	9:00～12:00 (宗石)
12月5日(火)	13:00～16:00 16:00～ 医療教育連携研修会(清水)
2024年1月11日(木)	14:00～16:00 「発音指導のためのレディネスと指導の実際」 講師 (宗石)

2) 対象者

学部	内 容
幼稚部	個別指導についてのアドバイス依頼。事前にビデオで録画した画像をみて構音の評価方法と指導についてアドバイス。
小学部	呼気の調節、構音についてのアドバイス依頼。直接指導と担任への指導を実施。
高等部	構音について直接指導実施。

3) 備考

- ・医療教育連携研修会でろう学校の乳幼児相談教室、幼稚部、小学部に通っている児のうち、当院で聴覚管理・言語指導を行っている児に関して補聴状況、コミュニケーション状況、問題点を話し合い、情報共有を行った。

5. 石川県立明和特別支援学校

言語聴覚士 (フリー) 太田 朗子

1) 日程 (合計4回)

2023年6月26日(月)	10:30～13:00 ①
7月6日(木)	14:30～15:30 ②
11月29日(水)	10:00～13:00 ③
12月7日(木)	14:00～15:30 ④

2) 対象者

学部	内 容
中学部	発音が不明瞭 摂食機能、食事行動

3) 備考

- ・①、③の訪問日に授業参観、評価を実施、②、④に懇談を実施。

6. 石川県立小松特別支援学校

アルバ 山本 千敦

1) 日程 (合計 5 回)

2023年 6 月29日 (木) 9:20～15:00
 7 月 7 日 (金) 10:20～14:00
 8 月25日 (金) 9:30～12:30 *教員向け研修会
 10月23日 (月) 10:20～14:00
 12月 4 日 (月) 10:20～14:00

2) 対象者

学部	相談内容
小学部	発音不明瞭 (授業参観)
	コミュニケーション (発信) の個別評価
	話し方、アクセント (授業参観)
	発音不明瞭、発話促進や身振りサインを増やす方法 (授業、給食参観)
	発音不明瞭、発話促進や身振りサインを増やす方法 (授業、給食参観)
	発話を促す支援、口の動かし方 (授業・給食参観)
中学部	発音不明瞭 (個別評価、給食参観)
	口の動かし方や咀嚼の促し方 (事前動画)
高等部	指示の聞き取り (授業参観)
	発音不明瞭、気持ちを表現するための手段 (授業参観)
	ことばでの発信について (単語、文) (個別評価)
	発音不明瞭、早口 (個別評価)

3) 備考

・同校教員向け研修会 「ことば・コミュニケーションの見立てと支援について」

7. 石川県立小松瀬領特別支援学校

アルバ 山本 千敦

1) 日程 (合計 3 回)

2023年 7 月 4 日 (火) 10:00～15:00 ①
 10月30日 (月) 10:00～14:00 ②
 12月15日 (金) 10:00～15:00 ③

2) 対象者

学部	相談内容
小学部	意思表出手段、歯磨き (感覚過敏) ①②③
	発声を促す方法、歯ざりしりへの対応、食事場面の評価、支援 ①②
	水分摂取 (ストロー付きマグ) ③
中学部	意思表出手段、水分摂取、食事場面の評価、支援 (スプーン、コップ) ①③
	食事場面の評価。支援 (固形物) ①②③
高等部	発話不明瞭 (口唇音)、文字学習、コミュニケーション (意思表示)、食事場面の評価、支援②③
	食事場面の評価、支援 (固形物) ③

8. 石川県立錦城特別支援学校

やわたメディカルセンター 勝 木 準

1) 日程（合計4回）（地域の小学校の相談対応1回含む）

- 2023年6月5日（月） 9:30～13:30 ①
 10月6日（金） 9:30～13:30 ②
 2024年1月22日（月） 9:30～14:30 ③
 2023年10月13日（金） 8:25～10:50 *市内小学校への訪問

2) 対象者 校内 小学部児童3名、中学部生徒3名 校外 小学1年生2名

学部	内 容
小学部	コミュニケーション方法、目標設定について
	発音が不明瞭
	発音が不明瞭「さ行」が言えない
中学部	摂食時の食べこぼしを減らしたい
	発音が不明瞭 文字の書き誤り 発話速度が速い ③のみ
	気持ちの表現や切り替えが困難 ③のみ
小学校*	発音が不明瞭 構音より言語表出面の遅れ
	発音が不明瞭 構音より声量と口をあまり動かさないことの問題

3) 備考

* 錦城特別支援学校の相談員の先生と一緒に訪問、授業参観と短時間の個別評価後にそれぞれの児童の担任の先生と懇談。

4) 石川県理学療法士会 地域支援事業への協力

七尾市 令和5年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

健康講和（健康アップ講座）

日時	地区	所属	ST	会場
12月19日（火） 10:00～11:30	藤橋町	公立能登総合病院	薮越 文佳	南藤橋町会館

珠洲市 令和5年度 伴走型保険者支援事業 介護予防事業

（事業所支援）

日時	地区	所属	ST	会場
12月18日（月） 11:30～12:30	珠洲市	市立輪島病院	水上 匡人	長寿苑デイサービスセンター

8. 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会報告

「令和5年度石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」は8月6日(日)～11月26日(日)の全9回の日程で開催されました。今年度は、11名の応募がありましたが、9名が実際に受講されました。そのうち必須科目を欠席された2名を除く7名が修了されました。また、同様に昨年度修了出来なかった6名も今年度の必須科目を受講され、今年度は合計13名の意思疎通支援者が誕生しました。

講義では、失語症の基礎知識、意思疎通支援者としての心構えや倫理などについて学んでいただきました。実習では、STが失語症者役となり会話支援技術を習得した後、失語症当事者の方を講師としてお招きし、個別または集団での支援を意識した会話練習を行いました。また、PT神野俊介先生をお招きし、身体介助方法の講義や実技練習もしました。昨年度に引き続き、能美市防災センターにて外出同行支援実習を実施し、地震、消火、119通報等の体験を、要点筆記を使いながら支援していただきました。

受講者対象のアンケートには、「会話の内容を聞こうとする姿勢が大切。その姿勢が伝わることで当事者の方が自分の思いや意向を表出しやすくなると思った」「当事者の方はどの方も魅力的な方で、より深く知りたい、楽しい時間を過ごしてほしいと思った」「当事者の方が話したいことが自分に馴染みのないことだった場合、答えに辿り着けないと気落ちした。日常生活の中でアンテナを張って、知識を増やしたいと感じた」「外に出れば車椅子を使用している方は少なくないのに、知らなかったことが多く自分の無知さを思い知った」などといった感想をいただきました。また、当事者の方からも「もっと参加したい」「楽しい時間を過ごした」などの声が聞かれました。そして、チューターをしていただいたSTから、当事者講師として参加いただいた担当患者さんを見て「普段より積極的に、楽しそうに会話をされている」と話されていたことがとても印象に残りました。

毎回、講義の終わりに受講者の皆さんから感想や意見を聞く時間を設けていますが、回を重ねるごとに表情が変わり、意思疎通支援者としての責任感を持って受講されている様子をひしひしと感じました。最終日には受講者同士で連絡先を交換されている様子もあり、大変嬉しく思いました。

来年度からは、意思疎通支援者の派遣事業開始に向けて、まずは失語症カフェの開催を考えているところです。今後も石川県失語症友の会や当事者の皆様、県との連携を取りながら精進していきたいと思います。会員の皆様には実習時のチューター参加や当事者講師の紹介など今後とも是非ご協力をお願い致します。

城北病院 川原 共恵



9. 関連団体主催行事などへの参加活動

1) 志賀町リハビリテーション友の会 言語リハビリ講習会への講師派遣

日時	地区	所属	ST	会場
12月1日(金) 13:00～15:00	志賀町	公立能登総合病院	山 本 楓	志賀町保健福祉センター

2) きこえの相談会相談員派遣

日時	地区	所属	ST	会場
8月30日(水) 9:30～11:30	内灘町	金沢医科大学病院	山崎 憲子	内灘町役場
9月9日(土) 9:30～12:00	中能登	———	村上美矢子	ラピア鹿島
9月22日(金) 10:00～12:00	奥能登	恵寿総合病院	木村 聖子 真田はるか	奥能登行政センター
9月29日(金) 10:00～12:00	小松市	やわたメディカルセンター	勝木 準	芦城センター
11月9日(木) 13:30～	白山市	金沢医療センター	清水 聡子	あさがおハウス
11月30日(木) 10:00～12:00、 13:00～15:00	中能登	恵寿総合病院	真田はるか	ラピア鹿島

3) 石川県失語症友の会研修会・月例会での協力施設

	金沢本部・西支部	加賀支部	能登支部	珠洲支部
4月	総 会			4/22(土) 11:00～13:00 珠洲市総合病院 ST: 珠洲市総合病院 矢内、米田
5月	5/20(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 ST: 金沢脳神経外科病院 中島、寺本、青木	5/20(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: 公立つるぎ病院 上田	5/20(土) 13:30～15:30 フォーラム七尾 ST: 恵寿総合病院 真田、藪下	開催なし
6月	地区別研修会	地区別研修会	地区別研修会	開催なし
7月	7/15(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 ST: 石川県立中央病院 河本、別所	7/15(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: 加賀市医療センター 高嶋	7/15(土) 13:30～15:30 すこやかセンター ST: 公立羽咋病院 荒川	開催なし
8月	夏 休 み			
9月	合同研修会			
10月	10/28(土) 14:00～16:10 金沢ものづくり会館 ST: 浅ノ川総合病院 大聖寺、木村、田中	10/21(土) 14:00～15:40 小松サンアビリティーズ ST: 小松ソフィア病院 朴木	10/21(土) 13:30～15:30 ラピア鹿島 ST: 恵寿総合病院 諏訪、木村	開催なし
11月	開催なし	11/18(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: 加賀市医療センター 高嶋	11/18(土) 13:30～15:30 中能登町カルチャーセンター 飛翔 2階応接室 ST: 公立羽咋病院 松原	開催なし
12月	12/16(土) 10:30～14:00 招龍亭 ST: 金沢脳神経外科病院 中島、青木	12/16(土) 12:00～14:00 能美市ふるさと交流センター 「さらい」 ST: 公立つるぎ病院 上田	12/16(土) 11:00～13:00 和倉レストラン ブロッサム ST: 恵寿総合病院 諏訪、荒尾	12/2(土) 12:00～14:00 珠洲市総合病院 ST: 珠洲市総合病院 矢内
1月	開催なし	1/20(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: 小松市民病院 田嶋、岡崎	開催なし	開催なし
2月	2/17(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 ST: 金沢医療センター	2/17(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: やわたメディカルセンター 勝木	開催なし	開催なし
3月	3/16(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 ST: 金沢医科大学病院 山崎、山本、松井	3/16(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ ST: 小松市民病院 大下	3/16(土) 13:30～15:30 公立能登総合病院 3階会議室 ST: 公立能登総合病院 藪越 (他2名)	開催なし

4) 金沢市フレイル予防事業

【年間活動報告】

金沢市フレイル予防事業は、金沢市から委託を受けた金沢・健康を守る市民の会が市民全体で健康長寿のまちづくりを図ることを目的に実施しています。この事業で村上会員と上野がフレイルトレーナーとして、フレイルチェックの実践、「学ぼう！フレイル予防」講座の講師、フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック練習会等の活動を行ってまいりました。それに加え今年度はフレイル予防まつりが3回開催され、トレーナーはフレイル予防ミニ講座と、各ブースでフレイル予防相談会を行いました。健康づくりフェアにおいても、フレイルチェックのコーナーで、体験会を開催しました。このようなイベントを通して多くの方々がフレイルなど自身の健康に興味を持ってくださっています。フレイルチェックは、フルバージョンで行うことが可能となり各地域からチェックの開催要望が増えることとなりました。サポーター自身も実践回数を重ねるごとに、自身の体験をお伝えしチェックに来られた方々への勇気づけ、動機づけが上達していると感じています。トレーナーとしてサポーターの方々の後押しができるよう、今後も活動を続けてまいります。

金沢西病院 上野 真由美 ニュースレター2024.3

5) 金沢市健康づくりフェア

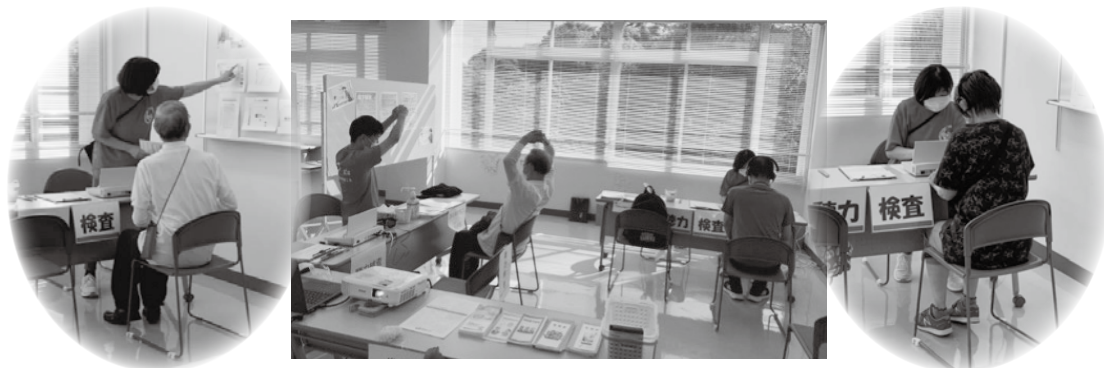
開催日時：2023年9月23日(土)・24日(日) 10:00～15:00

開催場所：金沢健康プラザ大手町東館・西館

【開催報告】

金沢市健康づくりフェアが9月23日、24日の2日間の日程で開催されました。今年のテーマは「発見！ 未病 健診がチャンス」ということで、健康相談や体力測定、内臓脂肪量チェック、フレイルチェックなどさまざまな催しがありました。そんな中で当言語聴覚士会では、お口まわりと滑舌、聴力測定と聴力についての相談を受けました。2日目には、お口のフレイル予防についてのミニ講座も行いました。特に聴力検査は好評で検査を待つ列が出来るほどでした。2日間を通して130名超の方が当会のブースにいらしてくださり、市民の皆様の難聴、特に加齢性難聴に対する関心の高さが分かりました。また、当会に少しでも関心を持っていただけたのではないかと感じた2日間になりました。

金沢西病院 上野 真由美 ニュースレター2023.12



6) いしかわ介護フェスタ

開催日時：2023年11月4日(土) 10:00～16:00

開催場所：石川県産業展示館3号館

【参加報告】

いしかわ介護フェスタに参加しました。いしかわ介護フェスタとは、「介護」をテーマに介護に関わる職種や企業が各々のブースに分かれ、参加・体験型のイベントを通し、介護に対する理解を深め、介護のイメージアップを図る事を目的としたものです。言語聴覚士のブースでは、言語聴覚士の概要や各障害別のパンフレットを設置、言語障害の症状等をプロジェクターを使用し放映、脳トレやパズルの体験コーナーを設けました。「脳トレやってみたい」と積極的に参加されたり、親子でパズルに取り組まれる方もおられ、親御さんから「言語聴覚士ってどんな仕事?」、「昔、子供がお世話になって」と声をかけていただく事がありました。また、金城大学や県立看護大学の学生さん達もブースに寄ってくださり、これから一緒に働く若い方にも言語聴覚士の仕事について少しお話しすることができました。今後も、気軽な雰囲気の中で、私達の仕事を知ってもらえる機会があると嬉しいです。

金沢春日ケアセンター 野々 恵 ニュースレター2023.12



公益社団法人 石川県言語聴覚士会 2023年度 年報

2024 年 6 月 2 日 発行

編集・発行 公益社団法人 石川県言語聴覚士会
〒923-8551 石川県小松市八幡イ12-7
やわたメディカルセンター 言語療法室内

TEL：0761-47-1212(代)

URL：<https://st-ishikawa.com/>

E-Mail：info@st-ishikawa.com

印刷所 マルト株式会社



石川県言語聴覚士会
ホームページ